



歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「扇田地区横町」

H18. 4.19取材



大

雪があった割には3月、4月とずいぶん雪解けが進み、桜咲く本格的な春ももう間近。日も随分と長く感じるようになりました。でも時々寒さがぶり返す度に、お楽しみの花見はまだ先かな？ なんて考えているのは、私だけ？ 今回は、

ぐずつく天気の間を縫って、扇田地区横町を訪ねました。

昔

ながらの古い店先を構えた商店と、比較的新しい店が混在した通りは、かつてにぎやかであったろうことが想像されます。家の前をせつせと掃いているのは、佐藤キヨさん(横町)。「今年桜が遅いわね。向かい宅の庭の桜がこの辺では、最も早く咲くんだそうです。今年はまだつぼみ。」私はね、東京にいたんだけど、疎開して来たの。そして、

らじこが良くなってずっと暮らしてきたのよ。」今は上き旦那さんと洋服屋をしていたんだそうです。86歳とは若い。キヨさん、姿勢も良くお肌もきれい！

薬屋さんの店の中で、商品の並べ替えなどに精を出しているのは、店の主、高堂谷嘉孝さん(横町)。早速インタビュを開始。嘉孝さんは、薬屋の3代目。「昔は、この通りはみんなお店をやっていたんですよ。バスも通

薬

屋さんの店の中で、商品の並べ替えなどに精を出しているのは、店の主、高堂谷嘉孝さん(横町)。早速インタビュを開始。嘉孝さんは、薬屋の3代目。「昔は、この通りはみんなお店をやっていたんですよ。バスも通

「無駄な道路を作ったりしないではいいの。それと広報が詳しくなくて見つらいものとキヨさん。親しまれる広報を目指します。」



この辺の桜の開花は、この木が標準木のようにです。

近

つていたそうです。「扇田病院が向こうに移る前は、この近くにあったんです」。当時はさぞやにぎやかだったんでしょね。「この良いところは、近所付き合いが良いことで、何かあるとすぐ手伝いに来てくれるんですよ。ナーいいですね。嘉孝さん、お急がしのごりありがとございました。近くの公園に向かうと、黄色いランドセル姿の女の子たちが寄ってきて、カメラを持った私に興味深々。「カメラマンなの?」。市の広報って知ってる?。「知らない」。ウム、なんともつれない返事。…女の子たちは、3人とも扇田小学校3年2組。伊藤楓恋ちゃん(朝日町)、乳井美樹ちゃん(八幡町)、高橋志奈ちゃん(朝日町)の仲良しトリ



「写真はかんべんしてよ」と嘉孝さん。しぶしが承諾していただきました。



横町の通り